

機殿まちづくりだより

機殿まちづくり協議会会報
6号
発行：2011.4
機殿まちづくり
広報編集委員会
松阪市六根町
TEL/0598-59-0351

東北関東大震災

三月十一日
十四時二十六分
マグニチュード九・〇
震源地 三陸沖
津波が、太平洋沿岸に

平成23年3月11日14時26分、震源三陸沖 深さ24キロ震度はマグニチュード9.0が、東北・関東地区が、地震に見舞われ、津波によってかつてない大惨事となりました。

また原発の事故も誘発し、我が国最大の危機と言っても過信ではない事態であります。このような状況の中では当面、私達は国民のひとりとして被災者の心までにはほど遠いものではありますが、「同じ痛みを分かち合う」という気持ちをもち、東北、関東地区を応援しようではありませんか。

また、この地域にも影響があるかとおもいますが、まちづくり協議会としても今後の課題ではないでしょうか。

平成二十三年度 事業計画(案)

協議会事業 (三部会合同)

- ごみゼロ運動
- 五月頃に実施予定
- 納涼まつり大会
- 七月頃に実施予定

農業振興部会行事予定

- さつまいも掘り
- 地産地消の料理講習会
- 地産地消の調査研究

健康福祉部会行事予定

- グラウンドゴルフ大会
- 健康ウォーキング
- 健康福祉講演会
- 児童保育に取り組むための調査研究
- 生活サポート支援に対する調査研究

和める場所の実施調査
ニュースポーツ大会
研究

環境エコ部会行事予定

- ホテルのすむ環境づくり
- 事業
- エコ事業の調査研究
- 事業

花のある環境づくり事業

機殿まちづくり協議会 基本理念

榎田川の右岸に広がる、緑と水に恵まれた田園地帯に、太古からの歴史が、息づく、わたしたちのふるさと機殿。「機殿まちづくり協議会」はここに生まれ、育ち、暮す一人ひとりの協働により、この美しい自然環境と歴史を未来に伝えていくとともに、誰もが健康やかに、安心して暮していくことのできる『人が優しいまち 人にも優しいまち 機殿』をめざしてまいります。

もえるごみの

指定ごみ袋の導入について

四月一日から試験的導入されます

現在、集積所にだされたごみの状況をみるとまだまだルールが徹底がされず、集積所には本来資源物であるはずのダンボールをはじめ、袋の中味の確認が困難な不透明袋などが多数出されている状況があります。皆さんにおかれましては四月一日から「指定ごみ袋の導入」に先立ちルール

*四月以降は、警告シールがはられ収集されませんが、中味の見えないもの、ダンボールや紙類など資源物を利用してはならないものは収集されません。

*十月一日以降の完全実施後は、指定ごみ袋以外の袋については、収集されません。その為、資源物の分別収集今後は地域の使命になります。

農業振興部会事業報告

地産地消料理教室

地産地消の野菜を使った料理教室が、講師に梶間泰子さん指導のもと二月二十六日十一時から機殿市民センター二階にて十八名の参加のもと行われました。

環境・エコ部会活動報告

二月二十六日に環境エコ部会の会員が、魚見橋下の清掃作業を行った。

魚見橋下の木類を切り橋上の交通の視野確保、障害物の除去並びに中学生徒が、多く利用する歩道の確保のため行った。

編集後記

今年一年間ありがとうございました。今年四回の会報発行協議会の広報活動の充実に努めて参りました。

- 編集委員
- 委員長 中川 佳久
 - 副委員長 鈴木 正一
 - 副委員長 西川 幸二
 - 委員 足立 幹夫
 - 委員 中川 留美
 - 委員 関岡真知子
 - 委員 勝井みゆき

皆様のご意見等ありましたら、是非広報部までお届け下さい

